イスラエル在留邦人が渡航可能な国及び渡航（日本への一時帰国を含む。）に当たっての留意点
（2020年8月27日現在）

在イスラエル大使館

8月16日、イスラエル政府は一部の国について、指定された制限内で旅行することができる旨発表しました。また、イスラエル政府は、世界各国・地域を罹患率の低い「グリーン国」と罹患率の高い「レッド国」に分け、「グリーン国」からイスラエルへ入国する者の隔離義務も同日に廃止しました。

イスラエルにお住まいの邦人の皆様の中には、今後これらの国々を含む近隣の第三国への旅行や、日本への一時帰国に関心をお持ちの方もいらっしゃるかと思います。そのような方は、イスラエルからの渡航全般に関する情報がイスラエル保健省の「新型コロナウイルス下の航空」サイト (<https://www.gov.il/en/departments/air-travel-covid19-israel>) にまとめられていますので、必ず目を通して下さい。また、「グリーン国」のリストは定期的に見直されるとされていますので、渡航前に同サイト中の「グリーン国・レッド国の一覧及び関連ガイダンス」 (<https://www.gov.il/en/Departments/DynamicCollectors/green-red-countries?skip=0>) で確認下さい。

ご参考までに、2020年8月27日現在、当館にて把握している手続・留意点等を下記のとおりご案内いたします。目的国、イスラエル側の双方において、出入国規制の内容は新型コロナウイルスの感染状況に応じて日々変わり得ます。したがって、イスラエルからの渡航を検討しておられる方は、下記記載の手続・留意事項に留意するとともに、以下の関連リンク、当館を含むこれらの国の当地大使館・総領事館ホームページ等で最新のフライト運航状況、規制状況、公共交通機関やホテルの営業等の状況を確認した上で、渡航日程・フライト等を計画されることをお勧めします。また、配偶者やお子様が日本以外の国籍である場合には、それぞれの国への渡航に係る手続・留意事項、さらには渡航の可否自体が異なる可能性がある（特に日本への渡航に関しては、日本以外の国籍の方は、ごく例外的なケースを除き、渡航の十分事前に当館領事部に査証を申請していただく必要がある上、本国の審査で「特段の事情」があると認められない限り、日本への上陸を拒否され、査証も発給されない）点にもご注意下さい。

記

1 イスラエルからの出国

(1) 8月16日以降、一部の「グリーン国」については、長期の隔離なしにイスラエルから渡航することが可能となっているが（下記3（2）参照）、「グリーン国」の全てがイスラエルからの渡航者に対する制限を緩和し、又は撤廃しているわけではない。目的国に関する最新のガイダンスと制限を必ず入手してから渡航計画を立てる必要がある。

(2) イスラエル出国前24時間以内に、オンラインでイスラエル出国の許可を申請する必要がある。 クリアランスのデジタルコピー又はハードコピーを保管（できれば両方）し、空港構内に入る際及び航空便に搭乗する際に、航空券と一緒に持っておく必要がある。

【参考1】 Submit an outbound clearance application – applying to leave Israel

<https://www.gov.il/en/service/request-depart-from-israel-covid19>

2 イスラエルへの再入国

(1) 渡航先が「グリーン国」か「レッド国」かに関係なく、イスラエルに在留する外国人は、イスラエルへ再入国するためには、従来と同様、イスラエル国内の在留地最寄りのイスラエル内務省支所にある入国管理局との間で手続を進める必要がある（当館発「イスラエル在留邦人が渡航可能な国及び渡航に当たっての留意点（2020年7月17日現在）」以下 URL 参照。）。渡航前も含め十分余裕を持って（再入国の予定日が決定した後直ちに）入国管理局に連絡の上、最新の規制内容を確認しながら再入国手続を進めておくことをお勧めする。

<https://www.israel.emb-japan.go.jp/files/100074972.pdf>

(2) 上記に加え、イスラエルへの帰路航空便の出発前 24 時間以内に、オンラインでイスラエル入国の許可を申請する必要がある。クリアランスのデジタルコピー又はハードコピーを保管（できれば両方）し、航空便に搭乗する際に提示する必要がある。また、イスラエル再入国時にも提示する必要がある。

【参考 2】 Submit an inbound clearance application – applying to enter Israel

<https://www.gov.il/en/service/request-entry-to-israel-covid19>

(3) 「グリーン国」からイスラエルへ入国するイスラエル市民／居住者又は外国人は、イスラエルに到着した後の 14 日間の隔離の義務は課されない。

また、「グリーン国」を出発し、乗り換えのためにレッド国の空港を利用した（同空港から出ていない）場合でも、隔離の義務は発生しない。

(4) 「レッド国」からイスラエルへ入国する者（再入国が許可された者）については、上記（1）（2）に加え、隔離フォームの提出が必要となる。例えば、日本へ一時帰国する在留邦人は、現時点においては日本は「レッド国」とされているため、隔離フォームも提出し、イスラエル再入国後は、公共交通機関を利用せずに自宅に移動して 14 日間の自己隔離を行う必要がある。不明な点がある際は、駐日イスラエル大使館領事部等に相談することをお勧めする。

【参考 3】 Home / Motel Isolation Self-Report（※上部の地球儀アイコンで言語の切替え可）

<https://govforms.gov.il/mw/forms/HouseIsolation%40health.gov.il>

(5) イスラエル再入国後、新型コロナウイルスに関連する症状を示す場合には、MDA 救急医療サービスホットライン（101）又は保健省ホットライン（*5400）に連絡してアドバイスを受ける必要がある。

3 国別情報

(1) 日本

アルフトハンザ (<https://www.lufthansa.com/il/ja/homepage>) がテルアビブ・羽田便（フランクフルト経由）、エール・フランス (<https://www.airfrance.co.il/>) がテルアビブ・羽田便（パリ経由）、スイス・インターナショナル・エアラインズ (<https://www.swissair.com/ch/de/>) がテルアビブ・成田

便（チューリッヒ経由）、ターキッシュ・エアラインズ（<https://www.turkishairlines.com/en-il/index.html>）がテルアビブ・羽田便（イスタンブール経由）を運航。

イ 渡航に当たっての手順・留意事項は以下のとおり。

（ア）日本への入国後は、検疫所長の指定する場所（自宅、事前に自分で確保したホテル等）で入国翌日から 14 日間待機する必要がある、その間、空港からの移動も含め公共交通機関（鉄道、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）の使用は不可。このため、日本渡航前に自身で、日本への入国後に待機する場所と、空港からその滞在先まで移動する手段（公共交通機関以外。家族・親族や勤務先による送迎、自身のレンタカー手配・運転等。）を確保しておく。

（イ）イスラエルからの入国に制限が設けられている乗継地の空港では、入国を伴わないトランジットエリア内の乗継のみが原則として認められている。これに伴い、同空港では、預入荷物を一旦ピックアップして預入れし直すことはできない（入国が許可されない）ため、荷物は、テルアビブから日本までスルーチェックインで預け入れるか、機内携行手荷物としておく必要がある。

（ウ）日本到着後、入国に先立ち、空港検疫所において、質問票の記入、体温の測定、症状の確認、PCR 検査を行う。PCR 検査結果が陽性の場合には、医療機関への入院又は地方公共団体が指定した宿泊施設等での療養となる。検査結果が陰性の場合でも、入国から 14 日間の待機中は、保健所等による健康確認の対象となる。

到着から入国まで数時間かかる状況が見込まれるほか、予め確保した待機場所がホテルである場合には、検査結果が判明するまで（約 1～2 時間程度）そのホテルには移動できず、空港内又は検疫所が指定した施設等で待機する必要がある。詳細は下記【参考 4】の厚生労働省ホームページを参照。

（エ）空港から予め確保した待機場所まで、公共交通機関以外の移動手段（親族等による送迎、レンタカー等）で直行し、入国翌日から起算して 14 日目まで、同場所にて不要不急の外出を控え待機する。

ウ イスラエル再入国後は、上記 2（4）のとおり、自宅で 14 日間の自己隔離を行う必要がある。

【参考 4】

在ドイツ日本国大使館ホームページ「航空便運航状況／乗り継ぎ上の留意点」

https://www.de.emb-japan.go.jp/itpr_ja/konsular_coronavirus200313-1.html#06koukuubin

在フランス日本国大使館ホームページ「欧州外からのフランス入国に際する留意点／パリでの航空便乗り継ぎに際する留意点」

https://www.fr.emb-japan.go.jp/itpr_ja/coronavirus_00029.html

在スイス日本国大使館ホームページ「スイスにおける新型コロナウイルス感染症」

https://www.ch.emb-japan.go.jp/itpr_ja/coronavirus_ja.html

在イスタンブール日本国総領事館ホームページ「新型コロナウイルス関連最新情報ページ」

https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kolonasondakika.html

厚生労働省ホームページ

－これから海外から日本へ来られる方へ、これから海外へ行かれる方へ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00098.html

－水際対策の抜本的強化に関する Q&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19_qa_kanrenkigyuu_000

(2)【原則として隔離なしで渡航可能な「グリーン国」】ブルガリア、クロアチア、ルワンダ、ギリシャ(注1)

ア ブルガリア、ギリシャに関しては、それぞれブルガリア航空 (<https://www.air.bg/en>)、エーゲ航空 (<https://en.aegeanair.com/>) が直行便を運航。クロアチア、ルワンダに関しては、現時点において当館として直行便の運航を確認できていない。

イ これらの国には、8月16日以降、原則として(注2)目的地渡航後・イスラエル再入国後の隔離なしで渡航できるようになっている。

(注1)現時点では、イスラエルからの渡航先はアテネ、テッサロニキ、クレタ島、コルフ島の四地点に限定され、これらの地点に滞在可能なイスラエルからの渡航者数についても、計600人の上限あり。9月1日～15日には、渡航先の限定が解除されギリシャ全土への旅行が可能となる一方、イスラエルからの渡航者数の人数制限は、上限を1,200人に引き上げつつ維持される予定。

(注2)ギリシャ及びルワンダに関しては、到着後に再度検査を実施し、結果が出るまで(ギリシャはホテルで最大48時間、ルワンダは政府指定のトランジット・ホテルで少なくとも24時間)待機することが求められる。

ウ いずれの国においても、到着後にイスラエル出発前に行った検査結果の提示を要求される。当館で確認できた範囲で、イスラエル国内で海外渡航の目的でPCR検査を受けられる医療機関は、以下のとおり。

(ア) テルアビブ及び近郊

○イヒロフ病院

- ・PCR検査、抗体検査及びインフルエンザワクチン接種がセットになった「feel safe 検査」費用は、イスラエルID所持者が730NIS、それ以外が1,095NIS。
- ・PCR検査と抗体検査のセット費用は、イスラエルID所持者が590NIS、それ以外が885NIS。
- ・事前予約不要(日曜から木曜の14:00-16:45、金曜日9:00-10:30)。
- ・検査結果(保健省の承認つき)は英語で記載され、PCR検査結果は24時間後、抗体検査結果は72時間後となる。

○Assuta Ramat Hachayal

- ・検査費用は750NIS。
- ・旅券要持参。
- ・事前予約必要。検査日時は、月曜から木曜の10:00-12:00, 16:00-18:00、金曜の9:00-11:00。
- ・検査結果は3時間で受領できる。

○Hadassah Tel Aviv

- ・78時間以内のPCR検査結果の場合、イスラエルID所持者は603NIS、それ以外は905NIS。30時間以内に同結果通知の場合、イスラエルID所持者は954NIS、それ以外は1,431NIS。
- ・事前予約必要。検査日時は、日曜から木曜の8:00-15:00、金曜の10:00-11:00。

○Sheba Medical Center

- ・検査費用は 600NIS（イスラエル ID 所持者とそれ以外の者について料金に違いはない。）。
- ・事前予約必要。検査日時は、日曜から木曜の 8：00-16：00。
- ・ID 及び予約済み航空券の提示が必要。
- ・検査結果の受領まで 24 時間要する。

(イ) エルサレム

○Hadassah Ein Karem Hospital

- ・料金は Hadassah Tel Aviv と同じ。
- ・事前予約必要。検査日時は、日曜から木曜の 8：00-18：00、金曜の 10：00-11：00。

(ウ) ハイファ

○Rambam Medical Campus

- ・検査費用は、イスラエル ID 所持者が 606NIS、それ以外の者については 896NIS。
- ・事前予約必要。検査日時は、月曜から木曜の 8：30-9：00。
- ・予約時に航空券の写し及び ID を送付し、検査を受けることについての許可取得が必要。
- ・検査結果の受領まで 24 時間要する。

【参考 5】

ギリシャ、ブルガリア及びクロアチアへの渡航時の留意点（8 月 14 日）

<https://www.israel.emb-japan.go.jp/files/100083877.pdf>

在ブルガリア日本国大使館ホームページ

https://www.bg.emb-japan.go.jp/itpr_ja/covid-19_FAQ.html

在クロアチア日本国大使館ホームページ

https://www.hr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

在ルワンダ日本国大使館ホームページ

https://www.rw.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

在ギリシャ日本国大使館ホームページ

https://www.gr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

クロアチア内務省ホームページ（よくある質問等、英語）

<https://mup.gov.hr/uzg-covid/english/286212>

クロアチア入国事前登録サイト Enter Croatia

<https://entercroatia.mup.hr/>

(3) 【他の「グリーン国」の例※】 英国

ア Wizz Air (<https://wizzair.com/#/>) がテルアビブ・ロンドン (LTN) 便、 British Airways (https://www.britishairways.com/travel/home/public/ja_jp/) がテルアビブ・ロンドン (LHR) 便、 Easy Jet(<https://www.easyjet.com/en>)がテルアビブ・ロンドン (LHR) 便を運航。

イ 渡航に当たっての手順・留意事項は以下のとおり（詳細は <https://www.gov.uk/uk-border-control> 参照）。

(ア) 英国へ到着する前の 48 時間以内に <https://www.gov.uk/provide-journey-contact-details-before-travel-uk> へアクセスし、英国での滞在情報をオンラインで登録。登録情報は、印刷するか、

携帯電話に保存しておくか、英国入国時に入国審査官に提示する必要がある。

(イ) 英国への入国後は、事前に申告した滞在先（自宅、友人宅、ホテルなど）において14日間の自己隔離が必要。なお、イングランド、スコットランド、ウェールズ及び北アイルランドそれぞれにおいて隔離の要件が異なる。

(ウ) イスラエル再入国後は、上記2（3）のとおり、自己隔離は要しない。

【参考6】

在英国日本国大使館ホームページ

https://www.uk.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

Entering the UK

<https://www.gov.uk/uk-border-control>

※ 上記（2）以外の「グリーン国」の多くが、①自国民以外のイスラエルからの入国を認めていないか、②（英国のように）14日間の隔離・ホテル待機等に服することを条件に入国を認めている。①の場合は、そもそも当地在留邦人がイスラエルから渡航することはできない。EU加盟国である「グリーン国」（ドイツ、オーストリア、キプロス等）は概ね①の方針をとっている模様だが、具体的には、個々の「グリーン国」の外務省や出入国管理当局のホームページ等で確認する必要がある。

（4）【「レッド国」の例①】トルコ

ア ターキッシュ・エアラインズ (<https://www.turkishairlines.com/ja-jp/>) がテルアビブ・イスタンブール (IST) 便、Anadolu Jet との共同運航便でテルアビブ・アンタルヤ便、ペガサス航空 (<https://www.flypgs.com/en>) がテルアビブ・イスタンブール (SAW) 便、テルアビブ・アンタルヤ便を運航。

イ トルコ外務省からの通知によると、外国人の空路、陸路（イランとの陸路国境を除く）及び海路によるトルコへの入国／出国に関する新型コロナウイルス関連の制限は、関係当局により定められた／定められる予定の対策に従うことを条件として、解除された。

ウ トルコへ入国する者は情報フォームの記入が求められる。本フォームはトルコへのフライト内で搭乗者に配布され、空港到着時にサーマル・カメラとチェックポイントを通過し、感染症の症状が見受けられなければ、同フォームを入国警察官に提出の上、入国する（トルコ入国後の検査・隔離は不要。）。

エ 日本国籍保持者による本邦行きフライトへのイスタンブール乗り継ぎについても制限は確認されていないが、本邦以外の国への乗り継ぎについては、渡航先国がトルコからのフライト搭乗客の入国を認めるかどうか、事前に航空会社や在トルコの渡航先国大使館／総領事館等へご確認が求められる。

オ イスラエル再入国後は、上記2（4）のとおり、自宅で14日間の自己隔離を行う必要がある。

【参考7】

在トルコ日本国大使館ホームページ

https://www.tr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

在イスタンブール日本国総領事館ホームページ

https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

(5) 【「レッド国」の例②】 米国

ア ユナイテッド航空 (<https://www.united.com/ja/jp>) がテルアビブ・ニューアーク便、テルアビブ・サンフランシスコ便、デルタ航空 (<https://www.delta.com/>) がテルアビブ・ニューヨーク便を運航。

イ 米国への入国に当たっては、電子渡航認証システム (ESTA) による事前のオンライン申請・認証等の従来からの手続きに加え、入国後 14 日間、自宅等で待機の上、健康状態を観察し、周囲の者と距離を置くこと (social distancing) が求められる。

ウ イスラエル再入国後は、上記 2 (4) のとおり、自宅で 14 日間の自己隔離を行う必要がある。

【参考 8】

在アメリカ合衆国日本国大使館ホームページ

https://www.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

在ニューヨーク日本国総領事館ホームページ

https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

在サンフランシスコ日本国総領事館ホームページ

https://www.sf.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

State & Territorial Health Department Websites

<https://www.cdc.gov/publichealthgateway/healthdirectories/healthdepartments.html>